## 昆 虫　ムネアカハラビロカマキリ

- 成虫と大きな幼虫の前胸腹側はピンク色
- 腕（基節）に小さな突起が8～9個ある
- 胸（前胸）の部分がハラビロカマキリに比べて長い
- 成虫は9～11月、大きな幼虫は夏頃から見られる
- 卵鞘は白っぽく、ビロード状で枝に斜めに付着する
- 卵鞘は11～5月頃まで見られる（幼虫が産まれた古い卵鞘は1年中見られる）

撮影:岡野隆裕

## 昆 虫　ハラビロカマキリ

- 成虫と大きな幼虫の前胸腹側は薄い黄色で黒斑がある
- 腕（基節）に大きな突起が3個ある
- 胸（前胸）の部分がムネアカハラビロカマキリに比べて短い
- 卵鞘は黒っぽく、やや小さく枝に沿って付着する

撮影:岡野隆裕

## 昆 虫　タイワンタケクマバチ　クマバチ

- タイワンタケクマバチの方が、胸部が黒い（成虫）
- タイワンタケクマバチの方が、細くてやや小さい（成虫）

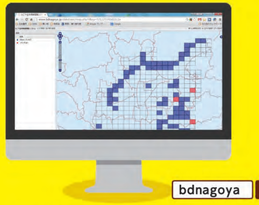
撮影:岡野隆裕

タイワンタケクマバチ

クマバチ

※両種ともミツバチのようなおとなしいハチですが、巣には近づかないでください。巣は、タイワンタケクマバチが竹の中、クマバチが樹木の中に作ります

## なごや生物情報閲覧システムで発見場所をチェック!



bdnagoya　検索

みなさまから寄せられた生きものたちの情報は「生物情報モニタリングデータベース」に蓄積されます。情報が充実したものから順次、「なごや生物情報閲覧システム」で確認された場所をマップ上でチェックできるようになります。

## 両 生類　ニホンアマガエル

撮影：藤谷武史

- 体長は5cm以下と小さい
- 体の色は緑色や灰色
- 背中に斑紋が現れることがある
- 鼻先から眼を通り鼓膜の後ろまで、黒い線がある
- 指の吸盤で、草木や壁を登る
- オスは「クワッ、クワッ、クワッ」と鳴く

## 両 生類　アズマヒキガエル

撮影：藤谷武史

- 大きくてずんぐりしている
- 短く太い四肢、大きな頭を持つ
- 体の色は灰褐色
- 皮膚に凹凸がある
- 普段は単独で公園や人家の庭の樹林下にいる
- 早春、水辺に多数の個体が集まり、産卵する
- 眼の後ろに白い毒液を出す耳腺がある
- オスは繁殖期（早春）に「クックック」と鳴く

絶滅危惧Ⅱ類

## 生きものの情報をデータベースに登録してみよう

まずはインターネットで「なごや生物多様性保全活動協議会」のウェブサイトにアクセス!
その中の「生きもの情報登録フォーム」よりご登録ください。詳しい手順は次の通りです。ぜひ、ご協力を。

bdnagoya　検索

### ❶ 種名を選択

「種名リストから選択」をクリックすると右図のように登録対象のリストが下にでてきます。登録したい種名をクリックしてください。

### ❷ 見つけた日を入力

実際に対象種を見つけた日付（年月日すべて）を入力してください。

### ❸ 見つけた場所をマーキング

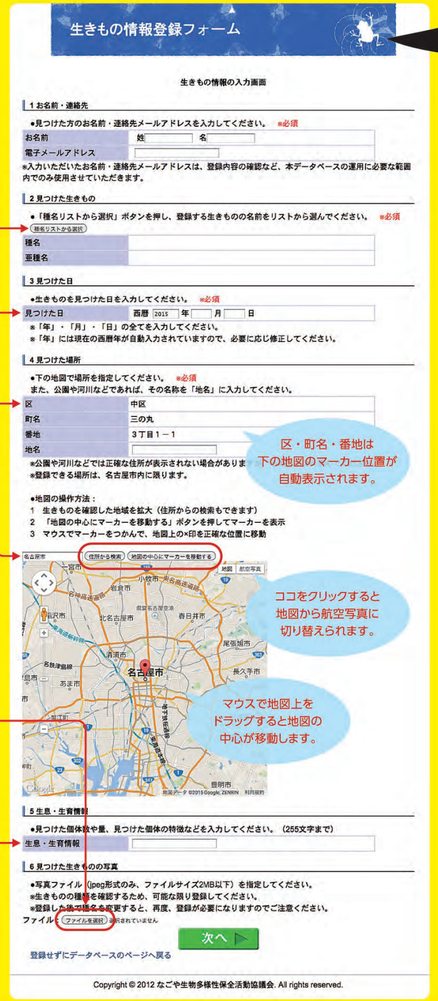
区・町名を入力して「住所から検索」ボタンをクリックすると地図の中心が入力した住所付近に移動します。「地図の中心にマーカーを移動する」をクリックし、さらに地図を拡大させ、マウスでマーカーをつかんで、地図上の×印を正確な位置に移動させてください。

### ❹ 生息・生育情報を記入

見つけた個体数や生育面積、観察時に気付いたことなどを記入してください。

### ❺ 画像データを登録

「ファイルを選択」をクリックするとファイルの選択ウィンドウが開きます。JPEG形式の画像（2MB以下）を1枚登録することができます。哺乳類は足跡やふんの画像、鳥類は巣の画像でも構いません。




区・町名・番地は下の地図のマーカー位置が自動表示されます。

ココをクリックすると地図から航空写真に切り替えられます。

マウスで地図上をドラッグすると地図の中心が移動します。


問い合わせ

**なごや生物多様性保全活動協議会**

（事務局：名古屋市環境局なごや生物多様性センター）

〒468-0066　名古屋市天白区元八事五丁目230番地
電話：052-700-7792（受付時間：平日8時45分～17時30分）
Eメール：bdnagoya@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp
URL：http://www.bdnagoya.jp



この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

# 求！ あなたの目撃情報

ここで紹介している24種類の動植物を見つけたら、
デジタルカメラなどで撮影して、
そのデータをインターネットで登録してください。
みなさんのご協力を、お待ちしています！

★中には危険な動物もいます。近づいたり、手を出さないでください。

## 哺 乳類　アライグマ（原産地：北アメリカ東部）

- しっぽは長く、リング状のしま模様がある
- 目の周りからほおにかけて、はっきりとした黒いマスク状の模様がある
- 眉間に黒い筋がある
- 耳は大きく、白い縁取りがある
- 足跡は、5本の指がはっきりと分かれ、前足は人の手形に似る
- 住宅の柱などをよじ登り、引っかき傷を作る

特定外来生物

前足の跡

後足の跡

## 哺 乳類　ヌートリア（原産地：南米）

特定外来生物

- 体重4～9kgほどある大型のネズミ類
- しっぽは長く、毛がまばらに生えている
- 前足の跡は4本指に見える　● 後ろ足の跡には水かきがある
- オレンジ色の長く鋭い前歯を持っている
- 水面で泳いでいる姿を目撃されることが多い

前足の跡

後足の跡

撮影：酒井正二郎

## 哺 乳類　タヌキ

準絶滅危惧

- しっぽは短く、しま模様はない
- 四肢が短く、ずんぐりしている
- 足はほぼ全体が黒い　● 耳先は丸い

## 哺 乳類　ハクビシン（原産地：中国本土）

- 顔の中央に白い線がある
- しっぽは長く、しま模様はない
- しっぽの先端は黒い
- 足は短く、体全体が細長い
- 足は黒っぽい部分が多い
- 足跡には、5本の丸い指先の跡がある（4本はネコ）

県条例公表移入種

足跡

## 植 物　オオキンケイギク（原産地：北アメリカ）

- 5～7月に黄色い花が咲く
- 花の大きさは5～7㎝
- 花びらの先は不規則に4～5つに分かれている
- 茎の高さは30～70㎝
- 裂片はだ円形で、粗い毛がある
- 道ばたや河川敷に生えている

花

葉（裏面）

特定外来生物

参考・引用：環境省「特定外来生物同定マニュアル」

## 鳥 類　ツバメ

- 全長約17㎝
- 春に渡って来て、軒先に泥を主体に枯れ草などを唾液で混ぜてお椀型の巣を作る
- 1シーズンに2回ほど繁殖する
- 尾の両端と翼が長い
- 頭から背、尾までは黒く、額と喉には赤い羽があり、胸と腹は白い

巣の写真でOKです

撮影：川島賢治

## 鳥 類　イワツバメ

- 全長約13㎝
- 春に渡って来て、コンクリート製の橋の裏や市街地のビルなどに集団で丼ぶり型の泥の巣を作る
- ツバメより尾や翼が短い
- 胸と腹は白く、喉には赤い羽がない

巣の写真でOKです

撮影：川島賢治

## 鳥 類　コシアカツバメ

絶滅危惧Ⅱ類

- 全長約18㎝
- 5月頃に渡って来て、建物の天井に貼り付けるようにとっくり型の泥の巣を作る
- 集団で営巣をする種類だが、単独でも繁殖する
- 体型はツバメに似る
- 胸から腹に黒い斑点がある。腰の色は淡いオレンジ色で、喉には赤い羽がない

巣の写真でOKです

撮影：川島賢治

## 鳥 類　コアジサシ

撮影：村上修

絶滅危惧Ⅱ類

- 全長約28cm、翼開鳥約53cm
- 体は白色、翼から背にかけては薄い灰色で、遠目には全身が白色に見える
- 頭部は黒色で、額周辺は白色
- くちばしは黄色で先端は黒色　● 足は橙色
- キリッ、キリッあるいはクリィ、クリィと聞こえる声で鳴く
- 夏鳥として渡来し、河川や海岸でコロニーを作り集団営巣する

## 鳥 類　ソウシチョウ（原産地：中国南部など）

特定外来生物

- スズメぐらいの大きさで、くちばしから尾までの長さは15㎝ほど
- 目の周りは白、くちばしは赤、のどから胸は黄色、翼は緑・オレンジ・黄色の羽を持ち色鮮やか
- メスはオスより羽の色が淡色
- 茂みの中にいることが多く、かつ、動きが早い
- 名古屋では秋から冬にかけて姿を見ることがある

撮影：水野マリ子

## 身近な生物多様性を守っていくために…

まずは動植物の生息・生育状況について把握する必要があります。
そこで、みなさまから動植物の目撃情報をインターネットで募集します。

背景色が…
= 在来種　= 外来種
（絶滅危惧ⅠB類、絶滅危惧Ⅱ類、準絶滅危惧は、「名古屋市版レッドリスト2015」によります）

## 魚 類　サツキマス・アマゴ

- 背ビレの後方に脂ビレがある
- 体に朱色の点がある
- サツキマスは体長30～50cm
- アマゴは体長20～30cmで体に7～11個の暗青緑色の斑紋がある

↑庄内川水系で捕獲されたサツキマス。アマゴと同種だが、秋に川から海へ下りて、春に再び川の上流域に戻り産卵するものをサツキマスと呼ぶ。

←庄内川水系で捕獲されたアマゴ。年間を通じて河川上流域（渓流域）に残る物をアマゴと呼ぶ。

撮影：矢田・庄内川をきれいにする会

## 魚 類　ニホンウナギ

絶滅危惧IB類

- 体は円筒形で細長い
- 背は青灰色や褐色、腹は白や黄色味を帯びている
- 主に河川や内湾などで見られる
- よく似た種類のオオウナギには、体にまだら状の斑紋がある

撮影：矢田・庄内川をきれいにする会

## 植 物　外来スイレン

- 水面に大きな葉（直径10～30㎝）を広げる
- 葉に切れ込みがある
- 初夏から秋に、赤・白・黄・ピンクの花を咲かせる
- ため池などで見られる

県条例公表移入種

## 魚 類　アユ

- 背はオリーブ色、腹は銀白色
- 背ビレの後方に脂ビレがある
- 背ビレは黒、脂ビレの先端はオレンジ色
- 胸ビレの後方に長円形の黄色の斑点が見られる
- 秋、産卵が近づくと体が全体的に黒ずみ、体の表面はザラザラになる
- 河川（3～12月頃）と海（11～4月頃）を回遊する

絶滅危惧Ⅱ類

庄内川水系で捕獲されたアユ（7月）

庄内川水系で捕獲されたアユ（10月）

撮影：矢田・庄内川をきれいにする会

## は 虫類　ニホンイシガメ

絶滅危惧Ⅱ類

- オスは12cm、メスは20cmぐらいまで成長する
- 甲羅のふちがギザギザ
- 腹が黒い

背

腹

【は虫類】参考・引用：（公財）日本自然保護協会「自然しらべ2013マニュアル」

## は 虫類　ミシシッピアカミミガメ（原産地：北アメリカ）

県条例公表移入種

- オスは20㎝、メスは28㎝ぐらいまで成長する
- 黒化したオスは、ほかのカメと見分けにくいので注意

背

顔に赤い模様がある

黒化したオス

腹

## は 虫類　クサガメ

- オスは20㎝、メスは25㎝ぐらいまで成長する
- 顔に黄色い模様がある　● 腹に白い線がある
- 甲羅に3本の盛り上がった筋がある
- 黒化したオスは、ほかのカメと見分けにくいので注意

※最近の研究では、江戸時代に日本にやってきた外来種という説もある

背

顔に黄色い模様がある

黒化したオス

腹

## は 虫類　ニホンスッポン

- オス、メスともに30㎝ぐらいまで成長する
中には35㎝を超え、重さが7kgに達するものもいる
- 鼻先がとがっている

背

腹